

# **CADEWA Smart V2.0**

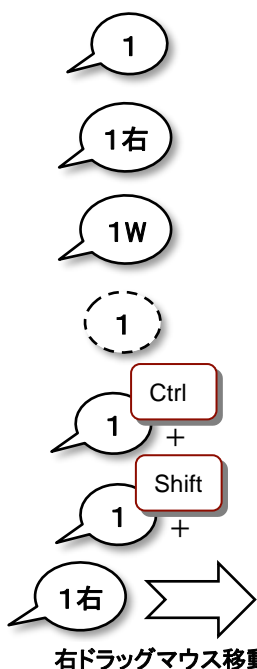






## **～汎用作画編集編～**

# 目次

汎用図形の作画を練習してみましょう

1. 開く
2. 線分(スナップ)
3. 文字
4. 注釈表
5. 円(距離指定)
6. 平行寸法
7. 複写
8. プロパティ(スタイルの変更)
9. 選択削除
10. 名前を付けて保存

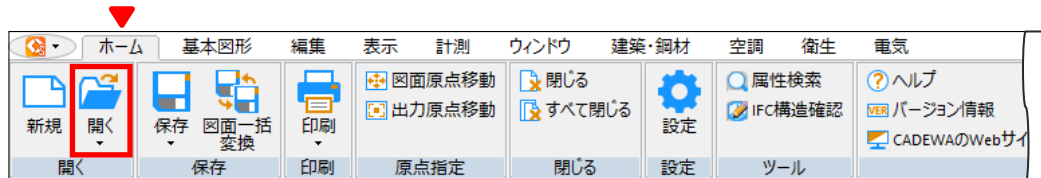
## マウスの使い方

- |   |                                      |
|---|--------------------------------------|
|  | ... 指示位置をクリック(左クリック)します。             |
|  | ... 指示位置をマウス右ボタンでクリックします。            |
|  | ... 指示位置をダブルクリック(左2回クリック)します。        |
|  | ... マウスを表示位置に近づけます。                  |
|  | ... [ Ctrl ]キーを押しながらクリック(左クリック)します。  |
|  | ... [ Shift ]キーを押しながらクリック(左クリック)します。 |
|  | ... マウス右ボタンをクリックしたまま移動します。           |
| 右ドラッグマウス移動  |                                      |

# 1. 図面を開きましょう

## Operation

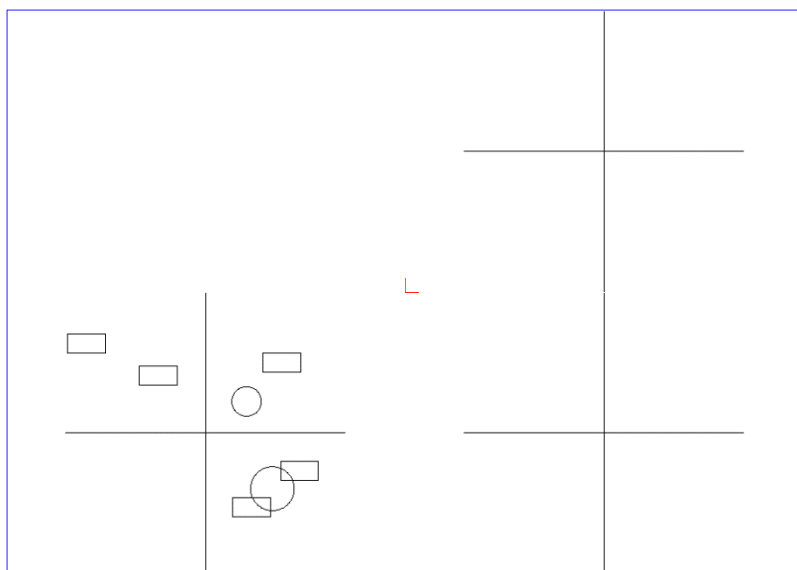
開く



使用する図面は  
Smart\_20\_B02\_汎用作画編集  
開始.ZDW

① 図面を選択します

② 開く

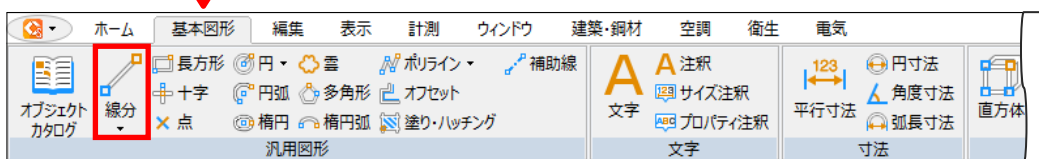


# 2.

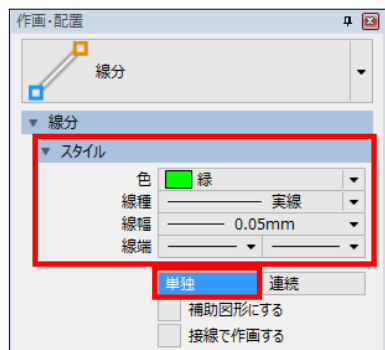
## 線分を作画してみましょう

### Operation

#### 線分

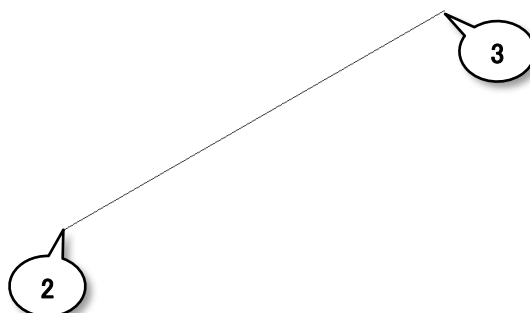


#### ① 作画モード・スタイルを設定します



#### ② 始点を指示してください

#### ③ 終点を指示してください



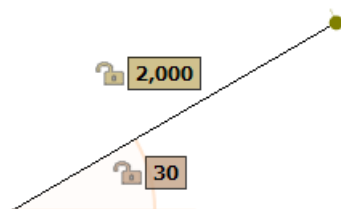
### スナップ



作画時の長さや角度は「スナップ」の「距離ピッチ」や「角度ピッチ」に従います。ONにすると設定した数値毎に距離、角度を確認しながら作画できます。(OFFにするとフリー作画になります。)

「ベクトル」表示 ONにすると下のように、距離、角度を確認しながら作画できます。

また、「ベクトル」表示中に[ F2 ]キーを押すと数値を直接入力できます。(もしくは、[ A ]キー: 角度、[ D ]キー: 距離が入力できます。)



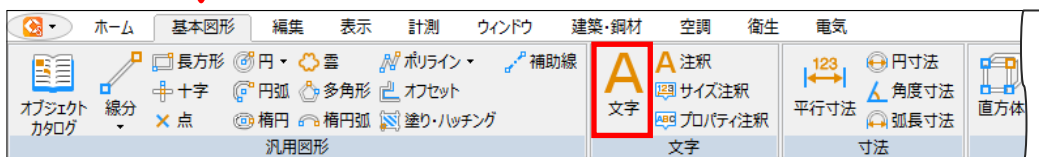
「ベクトル」表示ON

# 3.

## 文字を作画してみよう

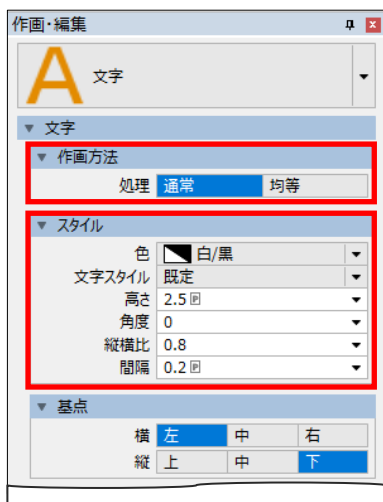
### Operation

#### 文字



① 文字を入力します

② 作画モード・スタイルを設定します  
\*処理: 通常



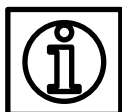
富士通

3

③ 配置点を指示してください



文字入力後は[半角/全角]キーを押し、「ひらがな」入力から「半角英数」入力に戻しましょう。



### 文字の作画と編集

文字のみ作画する場合は「文字」、引き出し線付き文字や枠付き文字は「注釈 表」をご利用ください。  
(「注釈 表」で作画した文字は、「文字基点変更」の対象外となります。ご注意ください。)

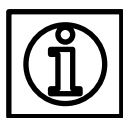
作画後の文字の編集は次の機能をご利用ください。

「プロパティ」: 文字内容やスタイルの変更

「文字編集」: 複数文字の内容変更や文字基点の変更

(「文字基点変更」は、「文字編集」内の機能です。リボンから直接起動できます。)

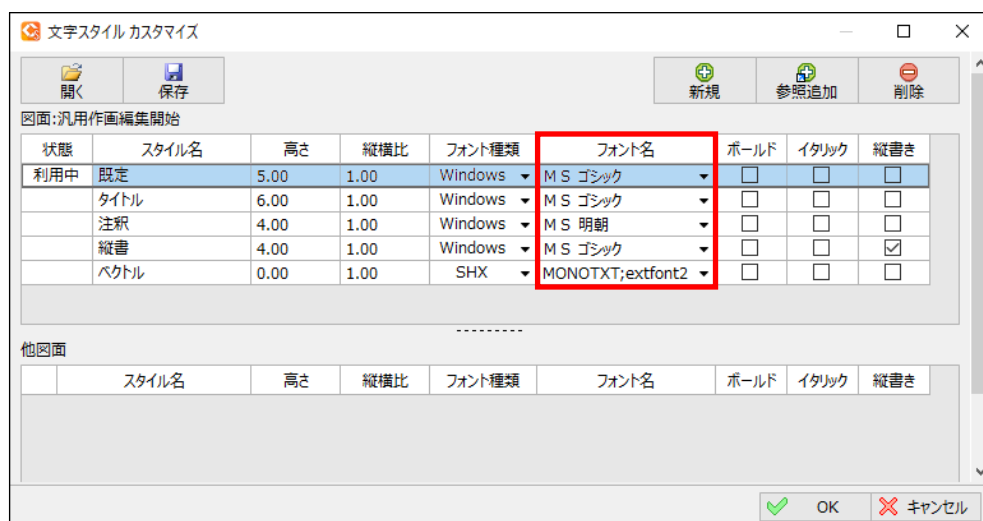
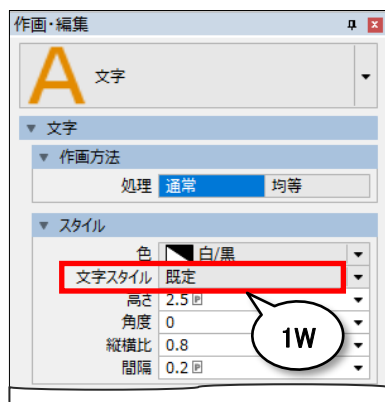
「文字の検索と置換」: 作画文字の検索や置換



## 文字フォントについて

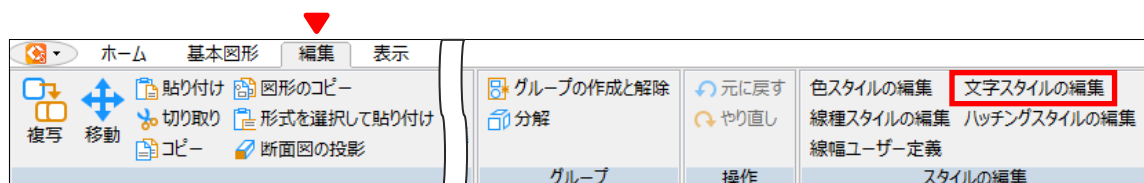
フォントは文字スタイルに割り当てられています。

文字スタイルの確認・編集は、スタイル名をダブルクリックして表示される「文字スタイル カスタマイズ」で行います。



使用済みの文字スタイルに対し、割り当てフォントを変更すると、作画済み文字のフォントも変わります。  
新しいフォントで文字を作画したい場合は、新規に文字スタイルを作成してご利用ください。

「文字スタイルカスタマイズ」画面はリボンから起動することもできます。

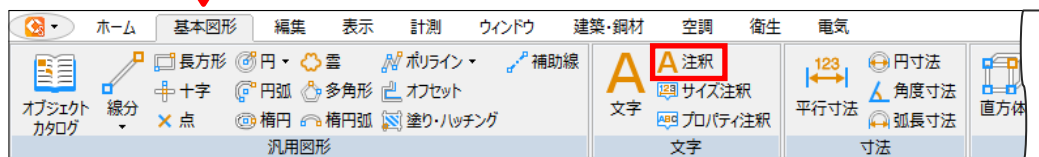


# 4.

## 注釈を作画してみよう

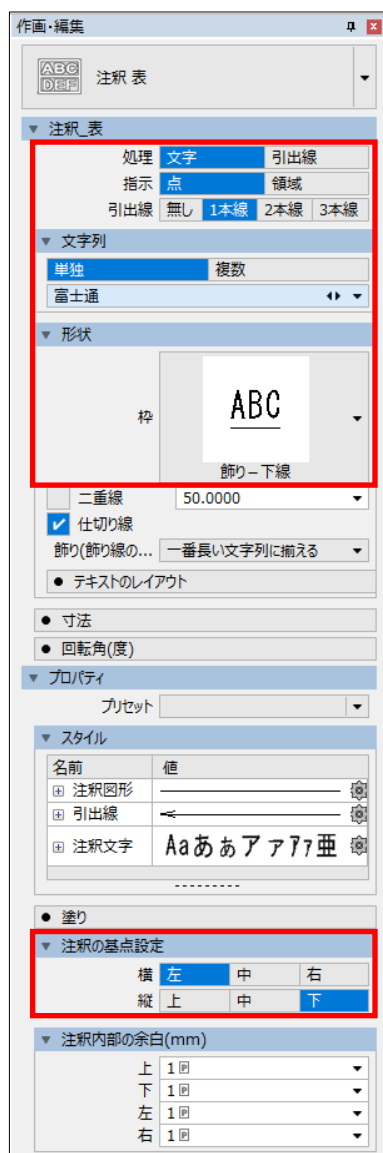
### Operation

#### 注釈 表



#### ① 作画モードを設定します

- \*処理: 文字 \*指示: 点
- \*引出線: 1本線
- \*文字列: 単独、富士通と入力
- \*枠: 飾り-下線
- \*横: 左、縦: 下



富士通

1

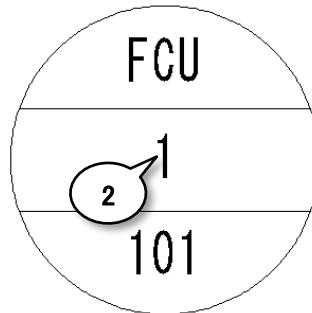
3

2

#### ② 引き出し点を指示してください

#### ③ 配置点を指示してください

- ① 作画モード・スタイルを設定します
- \*引出線:無し \*文字列:複数
  - \*列数:1 行数:3
  - \*1行目:FCU 2行目:1 3行目:101を  
入力
  - \*枠:円、\*仕切り線をON
  - \*横:中、縦:中

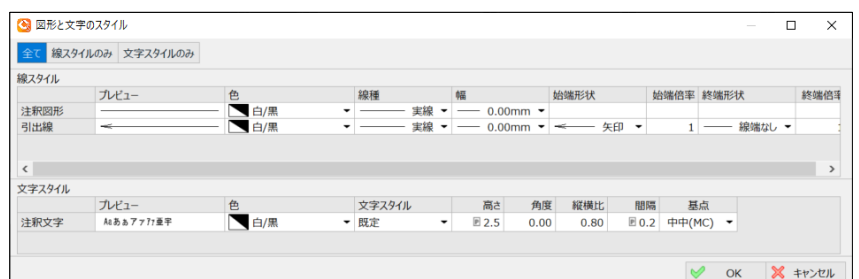
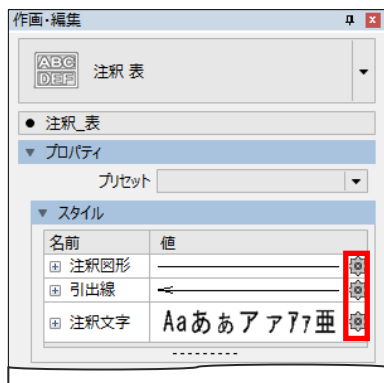


- ② 配置点を指示してください



## スタイル設定

作画編集パネルに「」マークのあるスタイルは  アイコンからもスタイル設定画面を表示できます。



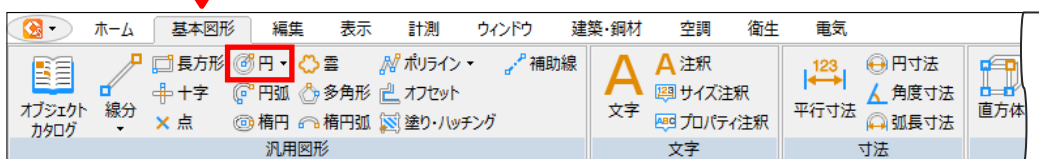


# 5.

## 距離を測った位置に円を作画してみましょう

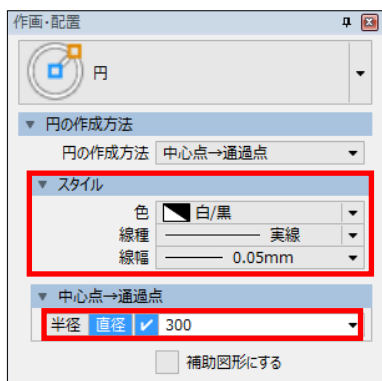
### Operation

円



① 「ベクトル」「距離ピッチ」をONにします

② 作画モード・スタイルを設定します

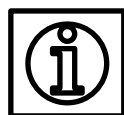
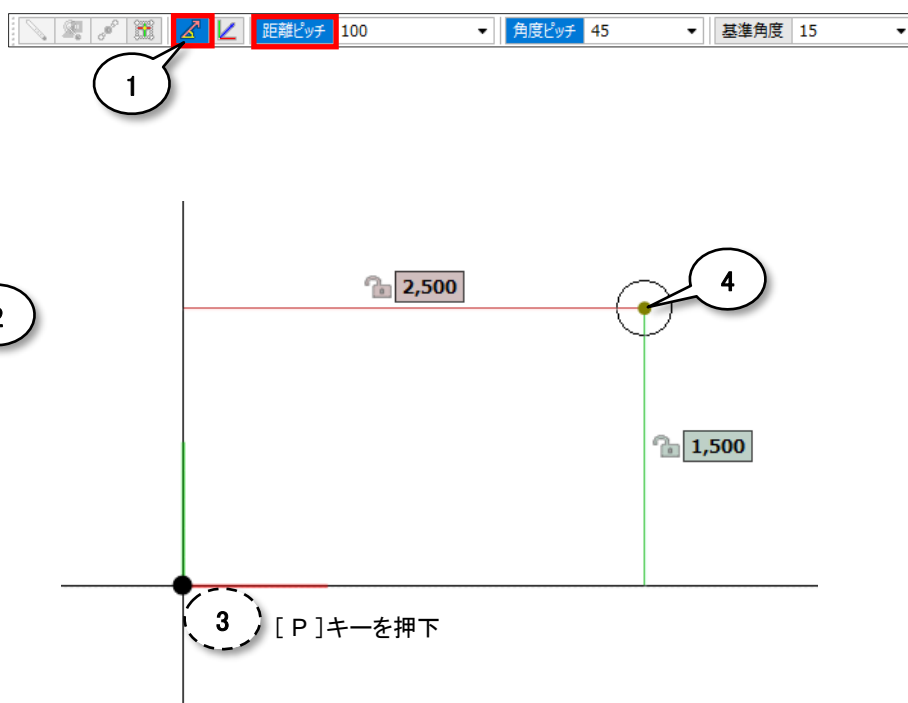


③ 距離計測する基準位置を指定します

\*マウスを中点([ / ]マークが表示される  
ところ)に移動し[ P ]キーを押す

④ 円の中心点を指示してください

\*XY距離を確認しながらクリック



### オブジェクト基準

オブジェクト基準

中点

XYZ



基準線

ベクトル

通り芯の寄り寸法

[ P ]キーを押すと、「スナップ」の「オブジェクト基準」をONにした状態になり、近くの検出点を基準点として距離が表示されます。

解除するには、「オブジェクト基準」をOFFにするか、もしくは[ Esc ]キーを押します。

また、「XYZ」表示中に[ F2 ]キーを押すと数値を直接入力することができます。(もしくは、[ X ]キー：X値、[ Y ]キー：Y値、[ Z ]キー：Z値が入力できます。)

### その他のモード

「基準線」：基準角度となる線分を指定します。

「中点」：点検出時、このボタンをONにすると、その後指示した2点の中点が検出点になります。

「通り芯の寄り寸法」：通り芯からマウス位置までの距離を表示します。

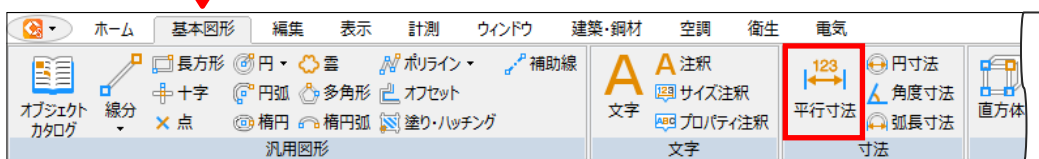
解除するには、「通り芯の寄り寸法」をOFFにします。

# 6.

## 寸法を作画してみよう

### Operation

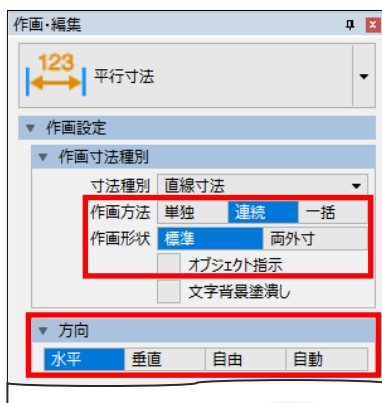
#### 平行寸法



① 「ベクトル」をOFFにします

② 作画モードを設定します

- \*作画方法: 連続
- \*作画形状: 標準
- \*オブジェクト指示: チェックをOFF
- \*方向: 水平

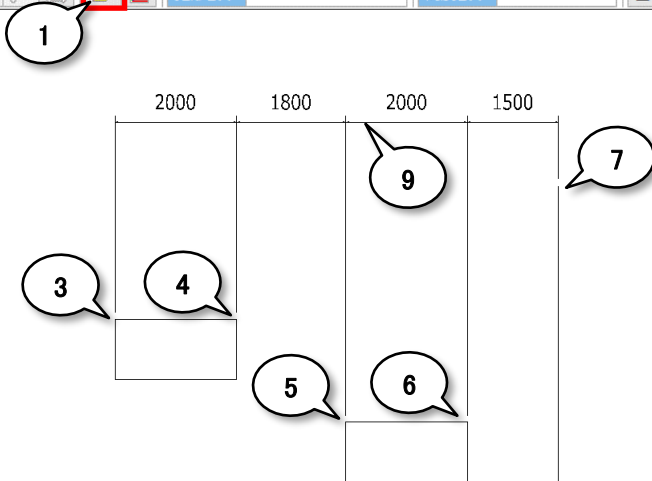


③ 始点を指示してください

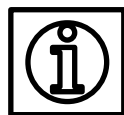
④～⑦ オブジェクト指示をしてください

⑧ 右 選択完了

⑨ 寸法位置を指示してください

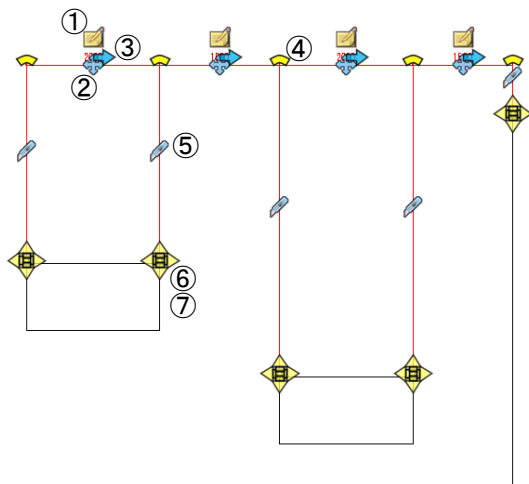


8右  
右ドラッグ移動により、  
選択を完了します。  
[ Enter ]キー  
または、  
[ OK ]ボタンクリックでも  
確定します。



### 寸法の変更

寸法の変更はハンドル状態から行います。クリックすると以下の操作が行えます。



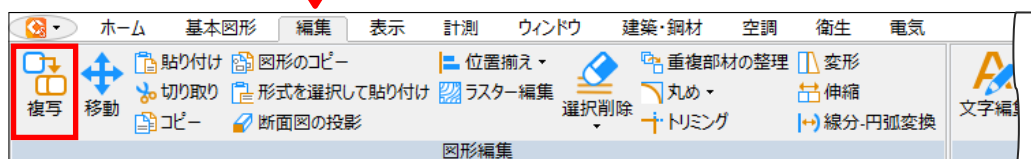
- ① 寸法値入力: 寸法の変更ができます
- ② 寸法の位置を変更できます
- ③ 寸法の文字の位置を変更できます
- ④ 寸法線の追加ができます
- ⑤ 寸法線の削除ができます
- ⑥ 横矢印で引出線の位置を変更できます
- ⑦ 縦矢印で引出線の長さを変更できます

# 7

## 図形を複写してみましょう

### Operation

### 複写



#### ① 複写方法を設定します

\*処理方法: 平行



#### ② 複写するオブジェクトを選択してください

#### ③ 選択範囲の終点を指示してください

#### ④⑤ 追加するオブジェクトを選択します

\*[ Shift ]キーを押したまま範囲を選択

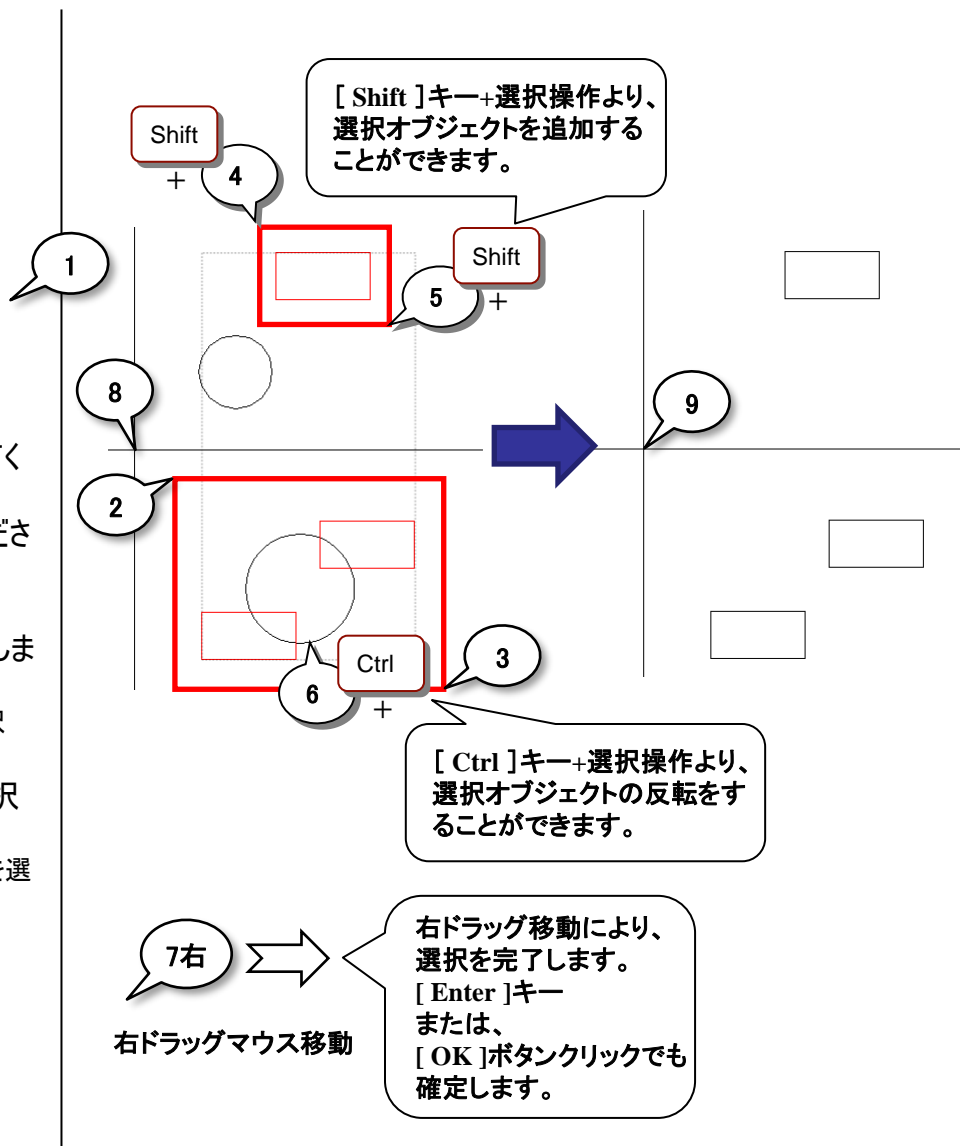
#### ⑥ 選択解除するオブジェクトを選択します

\*[ Ctrl ]キーを押したままオブジェクトを選択

#### ⑦ 右 選択完了

#### ⑧ 処理元原点を指示してください

#### ⑨ 処理先原点を指示してください



### オブジェクトの選択方法(選択の追加、解除)

オブジェクトの選択、追加選択、選択解除は次の方法で行います。

オブジェクト上でクリック: 単独選択

オブジェクトのないところでクリック: 選択始点

何もないところで右クリック: 選択解除

[ Shift ]キー + 選択操作: 必ず枠選択を開始、選択オブジェクトの追加

[ Ctrl ]キー + 選択操作: 選択オブジェクトの反転

### 次候補の選択

マウスをオブジェクトに近づけると、検出状態のオブジェクトは色が変わります。

複数のオブジェクトが重なっている場合、[ Tab ]キーで次の候補に切り替えることができます。

# 8.

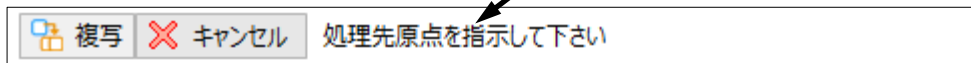
## 作画済オブジェクトのスタイルを変更してみましょう

### Operation

#### プロパティ

ガイドメッセージ上で右クリックし、全てのコマンドを終了

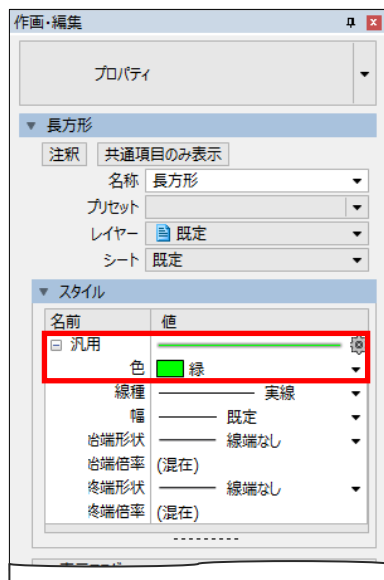
右クリック



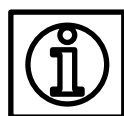
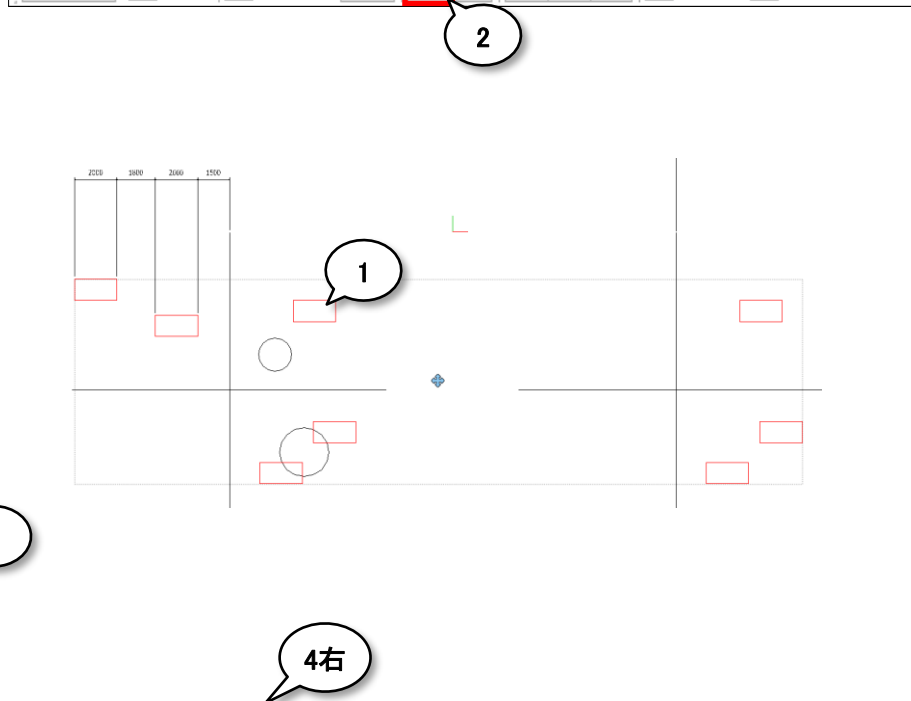
① 作画済みの長方形をクリックします

② 「同選択」ボタンをクリックします

③ 作画スタイルを変更します  
\*スタイル: 色「緑」



④ 右 選択解除



### オブジェクトの選択方法(範囲選択方法)

オブジェクトは次の方法で選択できます。

「四角」: 四角形で範囲選択します。

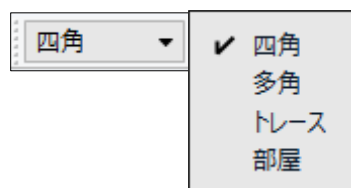
「多角」: 多角形で範囲選択します。

「トレース」: トレースで選択します。ダクトやケーブルラックなどは「トレース」選択が便利です。  
(ルート全体／区間指示／方向指示が選択できます。)

「部屋」: 作画済の部屋を指示し、指示された部屋の範囲内にあるオブジェクトを選択します。

「同選択」: 指示したオブジェクトと、同じ名称のオブジェクトを選択します。

「再選択」: 前回選択したオブジェクトを再度選択状態にします。



### オブジェクトの解除

操作が終わったら画面上何も無いところでマウス右クリックし、選択を解除します。

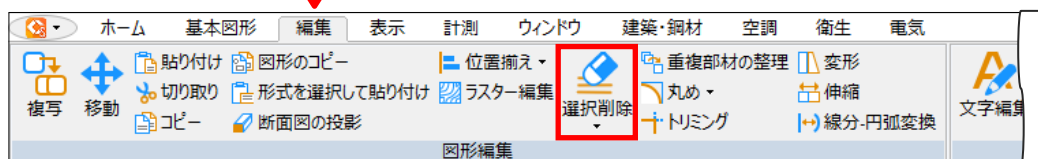
( [ Esc ] キーを押すことでも選択を解除できます。)

# 9.

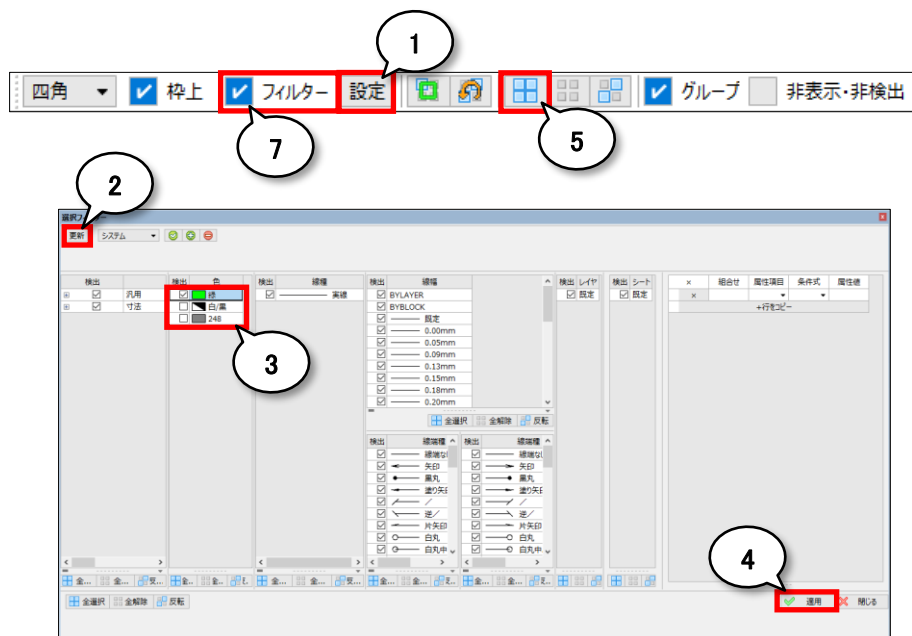
## 選択削除をしてみましょう

### Operation

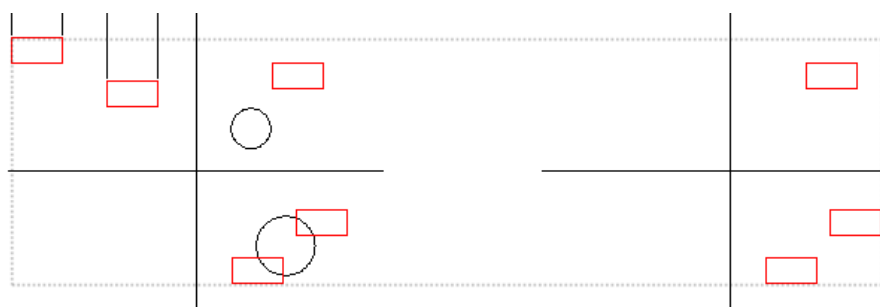
### 選択削除



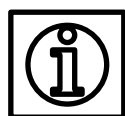
- ① 「設定」ボタンをクリックします
- ② 選択フィルターを設定します  
\*「更新」をクリック
- ③ 色「緑」以外のチェックをOFFにします
- ④ 「適用」をクリックします
- ⑤ 「全選択」をクリックします



- ⑥ 右 選択完了
- ⑦ 「フィルター」のチェックをOFFにします

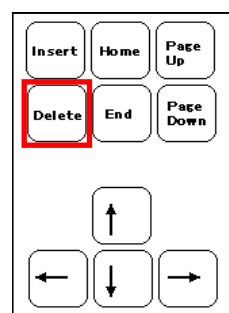


6右  
右ドラッグ移動により、  
選択を完了します。  
[ Enter ]キー  
または、  
[ OK ]ボタンクリックでも  
確定します。



### その他の削除方法

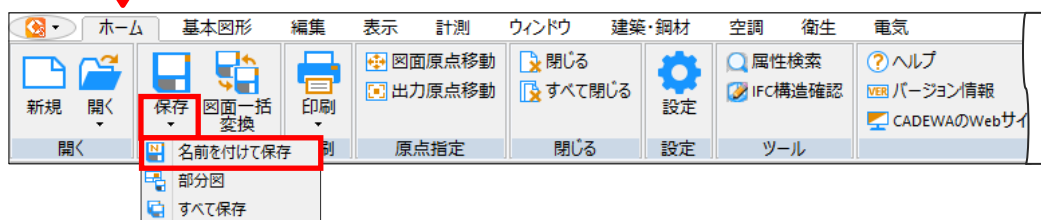
単独で削除する場合は、消したいオブジェクト上を右クリックし、コンテキストメニューの「削除」で消去することもできます。  
また、連続で単独削除したい場合は、[ Delete ]キーを押し、消したいオブジェクトを指示します。  
再度[ Delete ]キーを押すと[ Delete ]モードが解除されます。



# 10. 図面を保存してみましょう

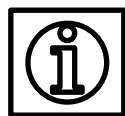
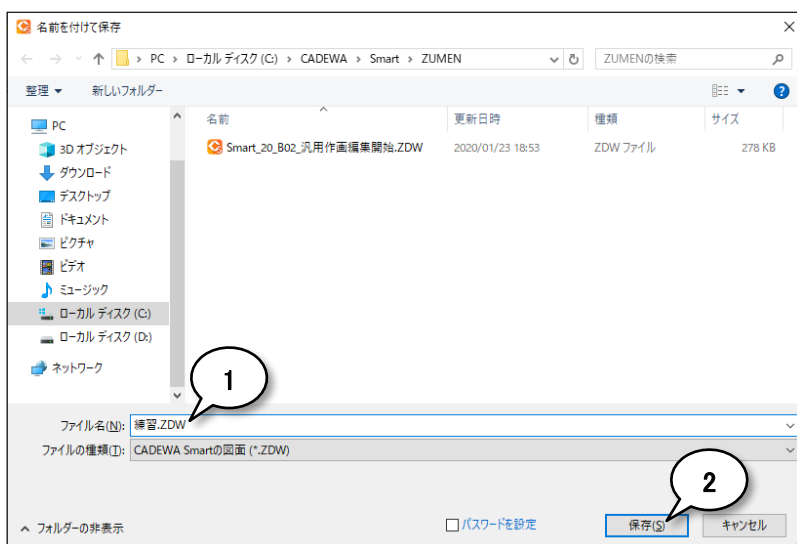
## Operation

名前を付けて  
保存



① 名前を付けて保存  
\*練習.ZDW

② 保存



## ZDW形式で保存する

作画、編集したファイルは、必ずCADEWA Smartの図面形式(ZDW)で保存しておきます。  
器具や配線、配管、ダクトなどCADEWA Smartで作画した部材には、独自の情報が付加されています。  
DXF/DWG/JWWなどの形式で保存する場合も、ZDW形式で最終データを保存した後、保存し直しましょう。